

く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。
7ところで、わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。この並み外れて偉大な力が神のものであって、わたしたちから出たものでないことが明らかになるために。(8-9節)¹⁰わたしたちは、いつもイエスの死を体にまもっています、イエスの命がこの体に現れるために、¹¹わたしたちは生きている間、絶えずイエスのために死にさらされています、死ぬはずのこの身にイエスの命が現れるために。¹²こうして、わたしたちの内には死が働き、あなたがたの内には命が働いていることとなります。

【創立者関連の大学図書館所蔵文献(抄)】

仙北富志和編著『デンマークに学ぶ：黒澤酉蔵翁・遺訓』酪農学園後援会、2018年。
仙北富志和編著『心田を耕せ・黒澤酉蔵翁・遺訓』酪農学園後援会、2017年。
仙北富志和編著『酪農救国：黒澤酉蔵翁・遺訓』2016年。
酪農学園編『酪翁自伝：黒澤酉蔵翁生誕一三〇年・記念』2015年。
仙北富志和編著『“健土と健民”に虹を架けた農思想：黒澤酉蔵翁生誕一三〇年・遺訓を聴く』2015年。
安宅一夫ほか企画・編集『酪農学園の創立：黒澤酉蔵と建学の精神』第4版、2014年。
村上昭二著『黒澤酉蔵の思想・信仰と建学原論』2010年。
村上昭二著『学園創設の理想と高校教育の沿革』2010年。
仙北富志和著『牛飼いからの伝言：黒澤酉蔵の生涯：田中正造の闘いを北辺で開花させた男』2010年。
仙北富志和著『「健土健民」への招待』ストーク、2005年。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

後学期にはクリスマス礼拝に向けてコーラスの練習もはじまります。毎週礼拝前後にオルガン前で練習していますのでご参加ください。

【次回の大学礼拝】2018年10月23日(火)10時40分

宗教主任の小林昭博先生(循環農学類キリスト教応用倫理学研究室准教授)が奨励をさせていただきます。お集まりください。

【前回の大学礼拝】

学生 235名 教職員ほか 11名 合計 246名

【大学礼拝週報】2018年度 第19号(後学期第4号)

2018年10月16日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子(キリスト教学教員)
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 「いと高きみ神に栄あれ」(リンク作曲)

讃美歌 讃美歌461番(主われを愛す)

聖書 コリントの信徒への手紙二4章8-9節

祈り

さんび

酪農学園大学聖歌隊

奨励

「キリスト者黒澤酉蔵」

村山昭二(元とわの森三愛高等学校校長・野幌教会会員)

報告

讃美歌 讃美歌312番(いつくしみ深き)

後奏 「神はわがやぐら」(パッヘルベル作曲)

【本日の聖書】コリントの信徒への手紙二4章8-9節

⁸わたしたちは、四方八方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、⁹虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。

【本日の聖書箇所の前後】4章1-12節

¹こういうわけで、わたしたちは、憐れみを受けた者としてこの務めを委ねられているのですから、落胆しません。²かえって、卑劣な隠れた行いを捨て、悪賢く歩まず、神の言葉を曲げず、真理を明らかにすることにより、神の御前で自分自身をすべての人の良心に委ねます。³わたしたちの福音に覆いかかっているとすれば、それは、滅びの道をたどる人々に対して覆われているのです。⁴この世の神が、信じようとはしない人々の心の目をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。⁵わたしたちは、自分自身を宣べ伝えるのではなく、主であるイエス・キリストを宣べ伝えています。わたしたち自身は、イエスのためにあなたがたに仕える僕なのです。⁶「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝